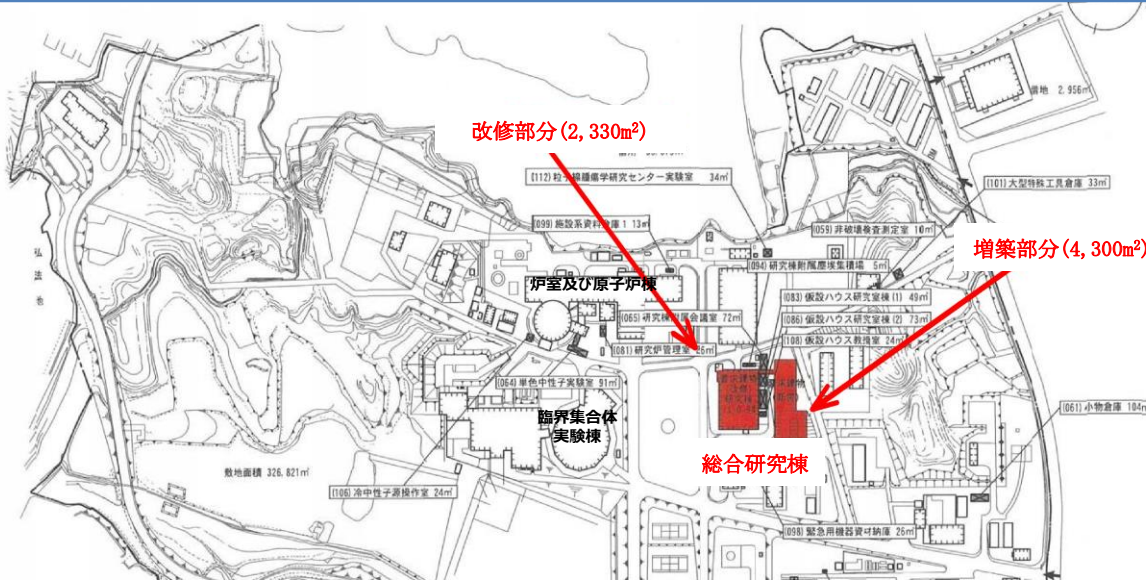




# 総合研究棟（改修・増築）事業の概要

総合研究棟（改修・増築）【改修面積：2,330㎡、増築面積：4,300㎡】



- ▶ 防災設備等の改修により、事故を未然に防ぐ安全・安心な施設設備の長寿命化
- ▶ 研究教育スペースの捻出により、研究教育環境整備を促進
- ▶ アクティブ・ラーニングスペースやオープンラボの整備により、共同利用・共同研究（基盤的活動）拠点の機能強化

	改修部分	増築（新棟）部分
4F(3F)	会議室	ユニット活動拠点 教員室・研究室
3F(2F)	教員室・研究室 アクティブ・ラーニング・スペース	ユニット活動拠点 教員室・研究室
2F(1F)	共同利用・共同研究（基盤的活動）拠点	安全管理部門 緊急時対応拠点
	渡り廊下	安全管理部門 大型実験装置室

実施期間：令和3年度～令和5年度（3か年）

## 事業の目的

■総合研究棟（研究棟）の全面改修・増築により、**原子力・放射線の安全かつ先端的な利用法の開発**や研究ユニット活動などにおいて、研究分野の枠を越えた研究者の積極的な連携・協働によって、**多様な異分野の融合を目的とした複合的原子力科学を更に推進**する。また、原子力発電の安全な運用や、老朽原発の廃炉等を担う**研究・技術者の人材育成**などにも貢献する。併せて、各安全管理部・室を集約し、**原子力災害対策の効率化や安全管理体制向上**を図ることで、自然災害時の複合災害を防止するとともに、最先端研究基盤である研究炉等のより安全な運用により、**国内外の枠を越えた学術研究の発展**に大いに貢献する。

## 組織図

京都大学複合原子力科学研究所

安全管理のための組織（兼務）      研究・運営のための組織

